

■執筆者紹介（執筆順）

**池尾 靖志**（いけお やすし） 1章、2章、13章（コラム）、14章、15章  
立命館大学・近畿大学非常勤講師

【主要業績】

『第2版 平和学をつくる』（編著）晃洋書房、2014年

『自治体の平和力』岩波書店、2012年

『地域から平和をきづく——オキナワ・イワクニからみた日本』（共著）晃洋書房、2010年

**佐藤 史郎**（さとう しろう） 3章、8章、11章、12章  
大阪国際大学国際コミュニケーション学部専任講師

【主要業績】

『英国学派の国際関係論』（共著）日本経済評論社、2013年

『生存基盤指数——人間開発指数を超えて』（共著）京都大学学術出版会、2012年

『紛争解決——暴力と非暴力』（共著）ミネルヴァ書房、2010年

**上野 友也**（かみの ともや） 4章、5章、6章、9章  
岐阜大学教育学部准教授

【主要業績】

『戦争と人道支援——戦争の被災をめぐる人道の政治』東北大学出版会、2012年

「東日本大震災——自衛隊・企業・市民団体との協働に向けて」『国際安全保障』第41巻第2号、2013年9月

「国連の統合アプローチと人道的利益——統合がもたらす分断の危機」『法学』（東北大学）第76巻第6号、2013年3月

**松村 博行**（まつむら ひろゆき） 7章、10章、13章  
岡山理科大学総合情報学部講師

【主要業績】

「衰退する米国中間層——オバマ政権の中間層再生政策の限界」『立命館大学国際地域研究』第39号、2014年3月

「製造業再興を目指す米国の試み——オバマ政権のイニシアチブとその限界」『立命館大学国際地域研究』第37号、2013年3月

『知識資本の国際政治経済学』（共著）同友館、2010年